

## これからの地域づくりに向けて

### 1 目標をつくる

「だれもが安心して暮らせる」というような抽象的な目標ではなく、「一人暮らしの高齢者の見守り体制を2年かけてつくる」というような具体的な目標を立てます。

### 2 話し合いを大切に

決める「会議」ではなく、自由に思いを話せる「話し合い」が大切です。「話し合い」が一人一人の地域に対する思いを育みます。

### 3 横のつながりをつくる

少子高齢化が進むということは、地域づくりを担う人も減るといことです。「こんな地域にしたい」を実現するためには、これまであった役割を見直すことや、地域の中と外がつながって一緒に取り組むことも大切です。

#### 地域経営アドバイザーからのコメント

高齢化と人口減少に伴い、生活の困りごとが増えたり、地域の魅力が失われたり、私たちがこれまで経験したことのない課題が多く現れてきています。これからは丁寧な話し合いの場を通して、地域にあるさまざまな資源や団体(人材)をつなぐこと、そして多様な人々の知恵と工夫を引き出しながら課題を解決していく必要があります。魔法のような方法はありません。みんなの力で一人一人の“思いを育む”地域をつくっていきましょう。

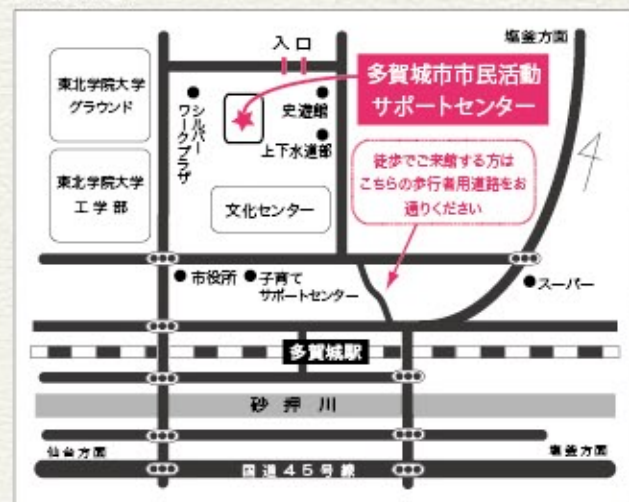
このリーフレットは、多賀城市地域経営アドバイザー櫻井常夫氏の講演を元に編集を加え作成しました。

たがさぽは地域づくりを応援します!

いろいろな人の意見を引き出す話し合いのコツ、話し合いで出たアイデアのまとめ方、連携して活動できそうな団体の情報、他地区で行われている地域づくりの事例など、みなさんの「こんな地域にしたい」という思いをかたちにするためにスタッフが相談に応じます。

- ◆その他.....
- ・町内会運営に役立つノウハウを学べる講座
- ・チラシや会報づくりに使える印刷機 など

交通案内



JR仙石線 多賀城駅北口より徒歩12分/駐車場有

とびだす! 町内会

## 地域づくり お役立ちガイド

## なぜ今地域づくりなの?

子どもは地域の宝、地域ぐるみで子どもを育てようと、放課後の子どもたちの居場所づくりをしている地域。高齢者世帯が多くなり、食事を届けたり、病院へ送迎したり、みんなで集まれるお茶っこ飲みを開いたり、高齢者が孤立せず安心して暮らし続けられるような取り組みを行う地域。少子高齢化が進み人口減少へと向かう日本で、すでに取り組みがスタートしている新たな地域づくり。

東日本大震災を経験した私たちは、自分だけでは、町内会だけでは、行政だけでは、というさまざまな「〇〇だけではできない」ことを身をもって知りました。しかし、同時にさまざまな人や機関が協力し合って困難を乗り越えてきたという実感もあるのではないのでしょうか。

若者が少なくなっても、障がいがあっても、高齢者のみの世帯になっても、安心して暮らし続けたい。そんな思いをかたちにするには、地域に暮らす一人一人の知恵や資源を持ち寄る必要があります。

## 新しい地域づくりのかたち

いろいろな立場の人が集まって、地域のことをあれこれ話し合うことが地域づくりの第一歩です。地域の中で大切にしたいものや守りたいもの(魅力)、解決しなければいけない困りごとや必要なもの(課題)を明らかにしていきます。

そして魅力をもっと伸ばし、課題を解決するための取り組みを生み出していきます。くり返し話し合う中で、本当に大切なこと・必要なことが見えてくる。同時に、それは新たな地域づくりの担い手を育てる大切な過程でもあります。

### 多賀城市市民活動サポートセンター(たがさぽ)

〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3  
 電話 : 022-368-7745  
 FAX : 022-309-3706  
 E-mail : tagajo@sapo-sen.jp  
 URL : <http://www.tagasapo.org/>  
 ブログ : <http://blog.canpan.info/tagasapo/>  
 Twitter : @tagasapo

開館時間 : 月~土曜日 9:00~21:30  
 日曜・祝日 9:00~17:00  
 休館日 : 毎週水曜日(水曜日が祝日の場合は、その翌日)  
 年末年始(12月28日~1月4日)



「とびだす! 町内会」には「もっと地域にとびだす」

「これまでの常識からとびだす」

「地域の外へ」とびだす」という意味が

込められています。

行政

# 新しい地域づくりの4つのステップ



はじめに  
ここでは具体的に4つのステップに分けてご紹介します。リーフレットを片手に地域への思いをふくらませてできることから取り組んでみましょう。

## 1 地域の魅力と課題を明らかに



自分が住む地域の中で大切にしたいものや守りたいもの(魅力)、解決しなければいけない困りごとや必要なもの(課題)を明らかにすることが新しい地域づくりの第一歩です。子どもやお年寄りの視点で見る地域、障がい者や外国人から見る地域、それぞれ立場や世代が違えば見えるものも違います。できるだけ多くの視点で地域を捉えることで、魅力や課題の輪郭が明らかになっていきます。

### まずはここからやってみよう

自分が住む地域の歴史・文化・自然などについて調べてみましょう。

家族や友達に地域の魅力や課題について聞いてみましょう。

## 2 話し合いを重ねる



次に地域の魅力や課題について、住民同士で話し合いをします。話し合いは、誰もが話しやすい環境を整えることが大切です。声の大きな人だけ発言することがないように付箋紙や紙を使って自分が思ったこと・感じたことを文字にします。そうすれば、人前で話すことが苦手な人も意見を表明できます。テーブルも教室形式ではなく、グループになってお互いが対等な立場で発言できるようにします。お菓子やお茶を持ち寄り、リラックスして話ができる空間をつくります。

話し合いは1回で終わりではなく、繰り返し行うことで地域の本当の魅力や課題が見えてきます。時間の許す限りじっくり話し合いを重ね、地域にとって何が大切かを参加者同士で確認し、魅力をさらに伸ばす事業や課題を解決するための事業を検討します。

### まずはここからやってみよう

少人数(5、6人)で一人一人の発言に耳を傾けましょう。

出た意見を文字にして誰でも見られるようにしましょう。

「魅力・課題」→「事業のアイデア」の順で話し合いましょう。

## 3 実践する



地域の魅力を伸ばすため、課題を解決するために何かが必要か見えてきたらよいよ事業の実践です。何かをする時、これまで準備や当日の運営などを一部の人たちだけでやっていませんか?地域には、さまざまな特技、知識、人脈などを持った人がいたり、学校やお店があります。町内会・子ども会の人たちだけでなく、たくさんの地域の力を結集させることが大切です。そして、一緒に汗をかくことで参加した人にも地域の一員だ、という意識が芽生えます。また、行政や地域の外の協力も得られれば、自分たちだけでは出来ないこともできるようになります。ただし、事業をこなすこと自体が目的ではありません。事業を実施することで「地域にどんな効果があるのか」を忘れずに進めていきます。

### まずはここからやってみよう

地域にどんな人がいて、どんな場所があるのか情報収集しましょう。

スケジュールや役割を決めましょう。

事業の目的は大切です。打ち合わせの時にみんなの見える所に書いておきましょう。

## 4 ふりかえる



事業を実施したらそれで終わりではありません。良かったこと、改善点、次回に生かせそうなこと、目的がどのくらい達成できたのかなどを話し合う時間も設けます。1時間でも30分でも構いません。できるだけ早くふりかえりをします。次につなげるための大事な時間なので、多くの人に参加してもらい、意見を共有します。

### まずはここからやってみよう

鉄は熱いうちに。良かったことや改善点を早めに共有しましょう。

話すだけでなく、記録しておけば次の事業でも活用できます。

..... ●おわりに● .....

今回ご紹介した4つのステップは、一巡するだけでは地域は良くなりません。ふりかえると新たな魅力や課題も見えてきます。これをきっかけに、4つのステップを繰り返すことでより住みやすい地域になっていくのです。そのためにぜひ、町内会や子ども会など、地域づくりに関わる方はこのリーフレットを手元に残し、次の担当者にバトンタッチしましょう。

2015年3月発行  
発行：多賀城市  
編集：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター  
監修：櫻井常矢(多賀城市地域経営アドバイザー/  
高崎経済大学 地域政策学部 教授)  
デザイン：kico design  
協力：多賀城市高橋地区のみなさん